

対象クラス	第1学年 生活デザイン科	単位数	3
使用教科書	ファッション造形基礎(実教出版)		
使用副教材	なし		

「ファッション造形基礎」とはこんな科目です。
 被服の構成を理解し、被服材料の種類や特徴など被服製作に関する知識と技術を習得し、ファッション造形の基礎的な能力と態度を育てる科目です。

科目の到達目標(目標とする検定等)
 ・被服構成の基礎、被服材料の種類や特徴など被服製作に関する知識と技術を習得し、ファッション造形の基礎的な能力と態度を身に付けることを目指しています。
 ・全国高等学校家庭科技術検定被服製作3・4級程度の作品製作を通して、被服製作技術の定着を図ります。

評価の観点	割合	評価規準・評価内容	評価の場面・方法等
知識・技能(技術)	4	・被服の構成や技法・材料などの基本的な知識を理解しているか。 ・人体と被服の関わり、人体を覆う被服の形、動作に適応した被服のゆるみについて理解しているか。 ・技術検定3・4級程度の基礎基本技術が習得できており、他の作品に応用できる力を身に付けているか。	・授業態度 ・ワークシート ・定期考査 ・実技テスト ・製作物の取組状況
思考・判断・表現	3	・習得した基礎的な知識と技術を効果的に利用するための方法を検討し、決定していく力を身に付けているか。	・定期考査、製作物 ・実習・実技の応用状況
主体的に学習に取り組む態度	3	・被服製作に興味をもち、意欲的に学習しようとしているか。 ・作品製作では、意欲的に工夫・創造しようとしているか。	・授業態度、取り組み状況 ・提出物の提出 ・定期考査

学習計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前期中間	第1章 衣服の構成 第2章 衣服の素材 第1節 製作の基礎 第2節 衣服材料の性能と選択 【前期中間考査】	・オリエンテーション ・立体構成衣服と平面構成衣服 ・被服材料の種類と活用 基礎縫い(手縫い・ミシン縫い) ・布地、糸、針の種類と特徴 ・適切な縫い目、基本の縫い方 ・刺繍、アップリケ 基礎縫いを利用したきんちゃく袋の製作 基礎縫いの標本作り	・被服製作を学ぶ目的を理解する。 ・人体構造とそれぞれの特徴を理解する。 ・被服材料の種類を理解し活用について考える。 ・被服製作に必要な用具、材料について理解する。 ・被服製作の基本になる縫い方(手縫い、ミシン縫い、ボタン付け)を確実に身に付ける。 ・刺繍やアップリケの技法を習得し、生活に生かす。 ・習得した知識と技術を確認する。
前期期末	第3章 洋服の製作 第4章 和服の製作 【前期期末考査】	・動作による人体の形態変化 ショートパンツの製作 ①練習 ・型紙作り・裁断、印付け ・縫い代の始末・ポケット付け ・本縫い・仕上げ ・和服地の種類と製作の基礎	・人体を観察し、正しく採寸できる。 ・ショートパンツの構成を理解する。 ・用途に合わせた材料選びができる。 ・布地の方向や縫い代を考え、裁断・印付けができる。 ・ロックミシンの使い方を覚える。 ・丈夫なポケット付けの方法が分かる。 ・和服地の素材や基礎縫いについて理解し、「くけ」の技術を身に付ける。
後期中間	【後期中間考査】 第3章 洋服の製作	②実技(アウターパンツの製作) ・仕上げ、コーディネート ・パターンの種類と展開 カジュアルシャツの製作 ①準備 ・型紙作り・裁断、印付け・縫い代の始末	・効率のよい作業手順と適切な縫製技術を身に付ける。 ・パンツを仕上げ、上衣のコーディネートを工夫する。 ・パターンの種類と展開方法を理解して応用する。 ・シャツの構成を理解する。 ・1年間で学んだ知識・技術を応用してカジュアルシャツの製作ができる。

<p>学 年 末</p>	<p>第3章 洋服の製作</p> <p>【学年末考査】</p>	<p>②本縫い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダーツ縫い・肩縫い・袖付け・裾の始末 ・ポケット付け・ボタンホール・ボタン付け ・仕上げ ・着装・コーディネート発表会 ・1年間のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・習得した知識・技術を活用し、日常着の縫製技術をより確実に身に付ける。(実技テスト) ・製作した作品を活用して、コーディネートに生かす。 ・1年間の振り返りをし、身に付けた力を確認する。
----------------------	---------------------------------	---	---